

2023年度 千住学部時間割

科目名称	板書法演習
授業コード	BN306
英語名称	
学期	2023年度前期
単位	1.0
担当教員	鈴木 貴史 (共通・教職資格系科目・卒業生発行区分)
記入不要 ナンバリングコード	
授業の概要	日本語における書字理論の基礎を習得し、小中学校で必要な板書技術の基礎・基本を身につける。また、黒板の機能について理解し、効果的な板書法について考察していく。授業前半は、文字についての基礎的理論について講義する。授業後半は、前半で学んだ知識を生かし、実際に漢字や仮名を正しく美しく書く練習を行い、あわせてICT教育における板書法の在り方についても検討する。
科目に関連する実務経験と授業への活用	教員経験における板書技術、書写技能を生かし、見栄えのある美しく見やすい文字の書き方、板書の仕方について講義する。
到達目標	カリキュラムポリシーに掲げる教職応用科目として、教科指導に不可欠な以下の教育理論と技能を修得することを目標とする。 (1)漢字や仮名の成り立ちや筆順等についての基礎理論を理解する。 (2)漢字や仮名を正しく美しく書くことができるようになる。 (3)板書の意味や機能を理解し、実際に板書を練習し板書技術を身につける。 (4)ICT機器の活用時における板書法を検討し、その技術を身につける。
計画・内容	第1回 板書法演習のイントロダクション（手書きの意義） 第2回 筆順筆記具の特徴、字体、書体、字形 第3回 漢字の理論（筆順） 第4回 漢字の理論 外形と結体 第5回 水書用筆によるかな文字書法 第6回 かな文字の理論（ひらがなの字形） 第7回 漢字かな交じり文 第8回 小テスト、黒板のレイアウトと色遣い 第9回 教科の特性に合わせて書く 国語編 第10回 教科の特性に合わせて書く 算数編 第11回 ICT教育における板書法 第12回 教科の特性に合わせて書く 道徳編 第13回 教科の特性に合わせて書く 理科編 第14回 教科の特性に合わせて書く 社会編 第15回 学期末レポート
授業の進め方	・授業の進め方 基本的には、毎回の板書の実際を通して指導技術を高める。 板書の基礎・基本を確実に理解できるように演習的に学ぶ。
能動的な学びの実施	・内容を実践的に学び身につけるために、毎回実技演習を取り入れる。 ・実際に書いた文字について、学生同士相互評価を行い、書写力を客観的に評価できる力を養う。
授業時間外の学修	授業時間外の学修(合計15時間) ・予習：毎回の授業内容に合わせて自己の板書の課題を整理すること(各回30分) ・復習：毎回の自己の書字力の分析をして板書の練習をすること(各回30分)

2023年度 千住学部時間割

教科書・参考書	<p>参考書</p> <ul style="list-style-type: none"> ・樋口咲子・青山由紀『板書 きれいで読みやすい字を書くコツ』ナツメ社 ・塚田泰彦ほか編著『初等国語科教育』ミネルヴァ書房 ・青山浩之『きれいな字"の絶対ルール』日経BP
成績評価方法と基準	<ul style="list-style-type: none"> ・成績評価方法と基準 <p>平常点（振り返りカード、板書の実際、小テスト）40%、小論文30%、提出物(一単位時間の板書の画像を印刷したもの)30%</p>
課題等に対するフィードバック	<ul style="list-style-type: none"> ・提出した板書の実際から各自の課題を解説的に指導する。 ・各回の板書の中で各自の書字力の課題を適宜指導する。
オフィスアワー	<p>Campus squareを参照。</p>
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・教育実習前の講座であり、板書の指導技術を身に付けていく良い機会であるので、多くの学生の履修を期待する。 ・小学生用の漢字練習帳（10マス十字リーダー入り）および鉛筆（Bまたは2B）を各自用意して授業に臨むこと。
非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の進め方 ・授業動画配信によるオンデマンド授業とする。 ・成績評価方法 ・授業中課題50%と期末レポート50%で評価する。